

石巻市のロゴマーク二次選考 投票結果

順位	ロゴマーク	ロゴマークの説明	作成者住所	投票数
1		「石」の文字をモチーフにして魅力ある石巻市めぐりをイメージしたマークをシンプルにデザインしました。	大阪府和泉市	755
2		私は出身が石巻市から近く、幼いころから頻りに石巻市に遊びに行っていました。中でもよく足を運んだのが、石巻市の海水浴場です。こちらのロゴマークは、そんな石巻市の海をイメージして制作しました。「石巻」という文字を、水平線と太陽をモチーフに成形しています。石巻市で聞かれるあたたかい方言をキャッチコピーとし、また復興支援への感謝の気持ちを「WITH GRATITUDE!」ということばで表現しました。	仙台市	574
3		東日本大震災からの復興に支援への感謝の気持ちをハートのモチーフでダイレクトに伝えるようにしました。リボンで結ばれたモチーフには、地域同士の繋がりや復興に向けたつながりの強さを出せるようにいたしました。また、水産業や食、アートといった魅力あふれる活動にさらに磨きがかかり石巻市のこれからの未来を想像させるようなキャッチコピーをつけました。	東京都北区	568
4		キャッチコピーは「海と萬画と食のまち」です。石巻市の漫画の文化は他の市町にはない強みだと思います。漫画を強調するのを前提に、本のシルエットをベースとして石ノ森萬画館食を表す牡蠣・ほや・笹かま・寿司・イチゴのイラストを本から飛び出るイメージで配置しました。全体のカラーイメージは海や水を連想させる青系で、文字は小さくなくても視認しやすい黄色にしました。	石巻市	561
5		キャッチコピーは「想いの光が輝き続ける」想いの光とは石巻市に集められたたくさん人の「願いや応援、友情や愛情」のことを指しています。その集まった光が消えることなくこれからも未来に向かって輝き続けることで、たくさんの人に感謝を伝えつつ更に前へ進んでいく石巻市の姿を表現しました。想いの光を石巻川開き祭りの花火と灯籠で表現。更に市の花つつじと市を代表する金華サバなどの水産物を配置してまとめました。	静岡県沼津市	370
5		石巻市の自慢したくなるものをイラストで外側に配置しました。キャッチコピーは「いい街、いい暮らし」。魅力いっぱい石巻市に、行って見たい...、住んでみたい...、そんな気持ちにさせてくれるイメージです。イラストは、上部より、石ノ森萬画館、金華山の鹿、ツール・ド・東北の自転車、ササニシキ、金華サバ、田代島の猫。	岩手県盛岡市	370
7		「石」の字をモチーフに石巻の象徴的な、太平洋と「サンファンパウティスタ号」と「石ノ森萬画館」の形をピクト化してデザインしました。石巻市ロゴカラーをベースに、日の光を浴び明るい未来に向かう様子が想像できるような色味です。復興した石巻、そしてこれからもずっとここで生きていくという思いを「生きる、石巻。」という短く印象的かつ力強いキャッチコピーで表しました。	東京都世田谷区	361
8		石巻市の自慢したくなるものをイラストで中央に配置しました。キャッチコピーは「いきいき、ウキウキ」。石巻市の魅力がいっぱいで、生き活きて、浮き浮きしてくる様子を表現しました。イラストは、上部より、石ノ森萬画館、金華山の鹿、ツール・ド・東北の自転車、ササニシキ、金華サバ、田代島の猫	岩手県盛岡市	308
9		全国の皆様からの復興支援は石巻市の未来を照らしてくれました。この感謝の気持ちを表現するため「灯台の光とリボン」をデザインのモチーフとしました。そして石巻の港の波をリボンに見立て、リボンの先端から「希望の象徴」と言われるカモメを一体的に表現しています。これら全体として石巻の未来が感謝と希望で照らされることをイメージし、ロゴマークとフレーズが合致する構成としました。	東京都港区	207
10		カタカナで表記したイシノマキの中に魚のモチーフを組み込むことで石巻のイメージを植え付けます。波打つ線を多く利用することで全体を通して海をイメージさせ、青や緑などのカラーリングで豊かな自然を表しています。キャッチコピーは美味しい特産物を通して復興支援を頂いた方々への感謝を届ける街であるという意味を込めています。石巻ならではの方言やポップなフォントを使用することで街の温かみを表しています。	石巻市	162
11		何度でも輝き続けるという意味と、行くたびに魅力が輝くという意味を込めました。石巻の「石」という文字に着目し、魅力が輝いているという意味を込めました。また石巻湾を意識した曲線、そこから上がる太陽を要素として盛り込みました。色合いは海を感じる青を、輝きを込めた黄色を使用しました。	兵庫県神戸市	58